

感 染 症 の 種 類 と 症 状

	病 名	潜伏期間	症 状	出席停止期間
第 2 種	インフルエンザ	1～2日	突然の発熱、悪寒、頭痛、腰痛、全身倦怠感、鼻づまり、たん、くしゃみ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
	百日咳	6～15日	初めは軽い咳、のどの発赤がみられる。発病後、1週間くらいからコンコンという咳が出る。	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹 (はしか)	10～12日	発熱、咳、鼻水、目やに。頬の内側に白い斑点(コプリック斑)ができる。発熱後4日目より全身に発疹が出る。	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	14～24日	37～38℃の発熱。片側か両側の耳の後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振、嚥下困難	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹 (三日はしか)	14～21日	発熱、淡紅色の発疹、耳の後ろ・首・わきの下などのリンパ節が腫れる。咳、結膜充血。	発疹が消失するまで
	水痘 (水ぼうそう)	11～20日	水疱のある発疹が全身に次々と出る。紅斑、水疱、痂皮(かさぶた)が混在する。	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱 (プール熱)	5～6日	発熱、のどの痛み、頭痛、結膜炎、首のリンパ節の腫れ	主要症状が消退した後2日を経過するまで
第3種	結核	1～2か月	初期は自覚症状なし。X線で発見されることが多い。	病状により学校医その他の医師において、感染のおそれがないと認めるまで
	腸管出血性大腸菌感染症	4～8日	症状のないものから下痢(水様便)、腹痛、血便が様々な程度で現れる。	感染のおそれがなくなるまで
	流行性角結膜炎	7～14日	急性結膜炎の症状で、眼瞼が腫れる、異物感がある、目やにが多く出る。	感染のおそれがなくなるまで
その他	急性出血性結膜炎	24～36時間	急性結膜炎の症状で、結膜や白目に出血する。	感染のおそれがなくなるまで
	溶連菌感染症	2～5日	突然の発熱、上気道炎症状、咽頭痛、首・わきの下・口周囲に紅斑が出る。	感染のおそれがなくなるまで
	マイコプラズマ肺炎	2～3週間	ゆっくりと始まるかぜ様症状で、しつこい乾咳がある。X線写真で独特の影が出る。	全身状態がよくなるまで